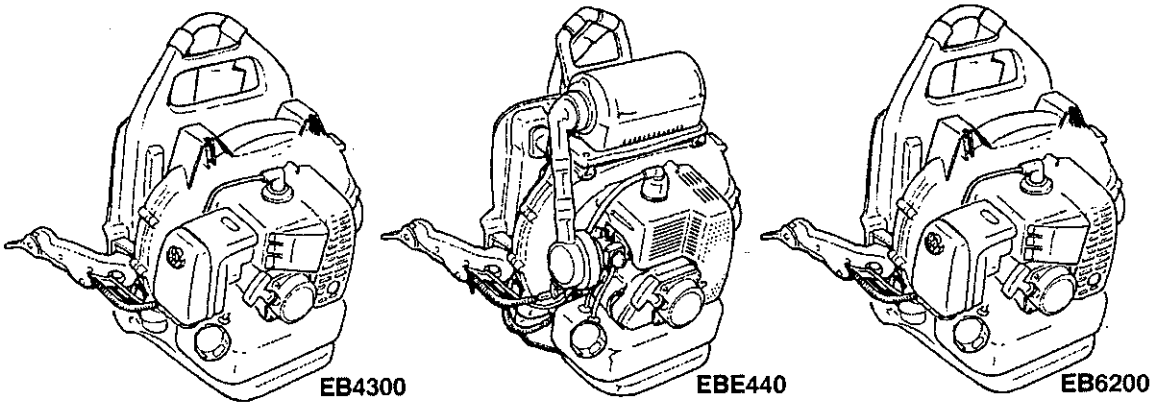
2760-93111 (E0/A704)

ZENOAH

ゼノアブロワ 取扱説明書

EB4300
EBE440
EB6200



⚠ 注意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

お願い	EB440 のバッテリは放電状態で出荷されています。充電してからご使用ください。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠危険	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	：注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重要	：注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補足	：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために　……1

警告ラベルとその取扱い……4

サービスと保証について　……5

組立

　背負いバンドの取り付け　……6

　エアクリーナの取り付け（EBE440のみ）……7

　風管の取り付け……7

燃料　……8

バッテリの充電（EBE440のみ）……9

エンジンのかけかた

　EB4300・EB6200……10

　EBE440……12

エンジンのとめかた　……13

使用方法　……14

点検整備

　エアクリーナ……15

　燃料フィルタ……16

　スパークプラグ……16

　エンジンの調整……17

　長期保管時の手入れ……18

製品主要諸元　……19

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■製品をお使いになる前に

●このブロワは屋外の落ち葉や散乱したゴミ屑等の吹き寄せ清掃を主用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので本来の用途以外の目的には使用しないでください。

●本製品は高速で吹き出す風力を利用するため、操作を誤ると危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では、本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

①転倒の恐れがあるなど、製品の正常な保持・操作が困難な場合
②霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
③天候悪化時（降雨、強風、雷など）
④作業中吹き飛ばされたゴミで周囲の人や物に危害を及ぼす恐れがある場合。

●初めてお使いになる場合は、実作業に入るまえに熟練者から製品の取扱い指導を受けるか、周囲に危険物のない広場等で練習し、操作に慣れてから本格作業に入るようにしてください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■作業時の服装・装備

●ブロワをお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、作業帽、手袋、作業靴を着用してください。また、作業時の粉塵や運転音から身体を守るため、防塵メガネ（ゴーグル）、耳栓（イヤマフ）、防塵マスクをお使いになるようお勧めします。危険ですので裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履ばきでの作業はしないでください。

■運搬時の注意事項

●運搬中の衝撃で燃料が漏れ出す恐れがありますので、タンクに燃料を入れたままで長時間悪路を運搬しないでください。

●車両で運搬する時は、機体をロープなどで荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。

■燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油時にこぼれた燃料は、エンジンをかける前に布などで完全にふき取ってください。

●給油後は、燃料容器を密閉し、燃料タンクのキャップを確実に締めてから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

⚠ 正しくお使いいただくために

■使用時の注意事項

●エンジンをかける前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみやカバー類の破損、燃料漏れ、操作部の作動不良等の異常が発見された場合は使用を中止して完全に整備してください。

●作業前に現場内および周辺の状況をよく確かめ、作業区域内に人や車が進入する恐れがある場合は、適切な方法で立ち入り禁止措置を講じてください。また、区域内の傷つきやすい物は移動するか覆いをしてください。

●作業中は周囲の人と10m以上の距離を保ち、子供や動物は作業現場から遠ざけて下さい。

●不測の事故や火災の危険がありますので、エンジンをかけたままブロワの吹き出し口を周囲の人やタキ火、焼却炉、ストーブ、カマド等に絶対に向けないでください。

●作業の途中で休憩や燃料補給、機体の点検などをする場合は必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受けることがありますので、エンジン運転中はスパークプラグやプラグコードに触れないでください。

●高温によるヤケドの恐れがありますので、エンジン運転中及び停止直後はマフラやスパークプラグなどの金属部に素手で触れないでください。

■整備上の注意事項

●製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備や部品交換が必要な場合はお買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●点検整備時は必ずエンジンを停止してください。

●送風機の吸気孔ガードを取り外して運転しないでください。高速回転する送風ファンに触れる恐れがあり非常に危険です。

●送風機やエンジンの分解・改造等はしないでください。運転中に機体が破損し、重大な事故を招く危険があります

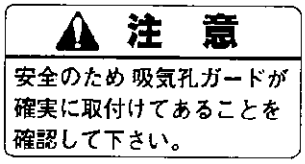
●エンジン停止直後は、マフラやスパークプラグに素手で触れないでください。高温のため火傷の危険があります。

●交換用部品はゼノア純正品またはゼノア指定銘柄品を使用してください。

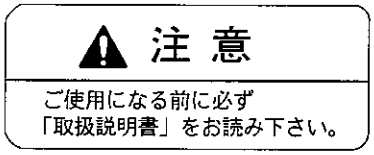
⚠ 正しくお使いいただくために

■警告ラベルとその取扱い

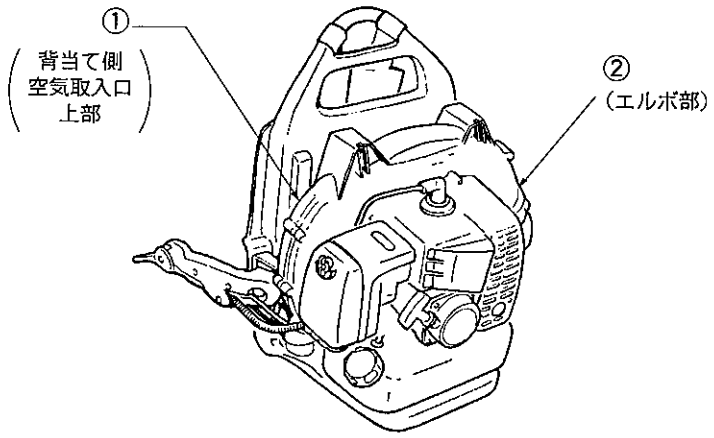
①品番Z3460-11830



②品番Z5604-91190



【貼付位置】



(図はEB4300の例ですがEBE440、EB6200も同じ位置です)

【ラベルのメンテナンス】

（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

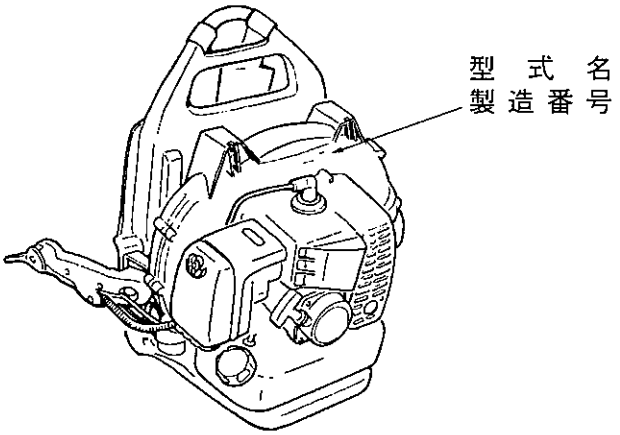
（2）警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、
新しいラベルに取り替えてください。

（3）新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして
元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。
お問い合わせの際は型式名と製造番号(下図参照)をご連絡ください。
製品およびサービスに関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽にお近くの弊社営業窓口(裏表紙記載)にお寄せください。



(図は**EB4300**の例ですが**EBE440**、**EB6200**も同じ位置です)

保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は製造打切後8年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠ 警 告	**機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。**

組　立

■背負いバンドの取り付け

⚠ 注 意	背負いバンド取り付け時は折り返し部が外側になるようにしてください。折り返しを内側にして取り付けると使用中にバンドが外れ、機体が脱落する恐れがあります。

図1　**【EBE440】**

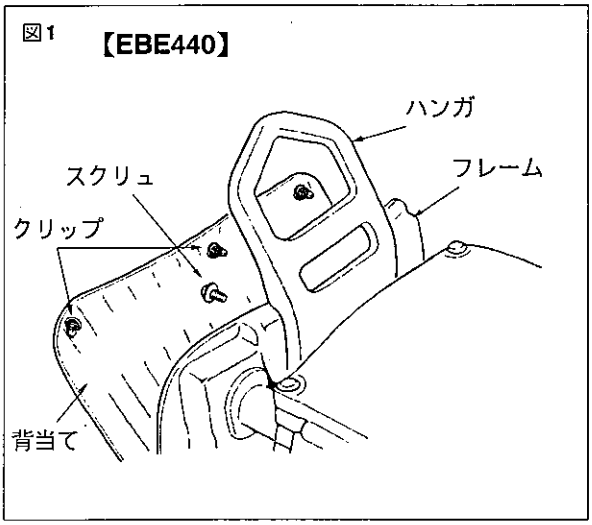
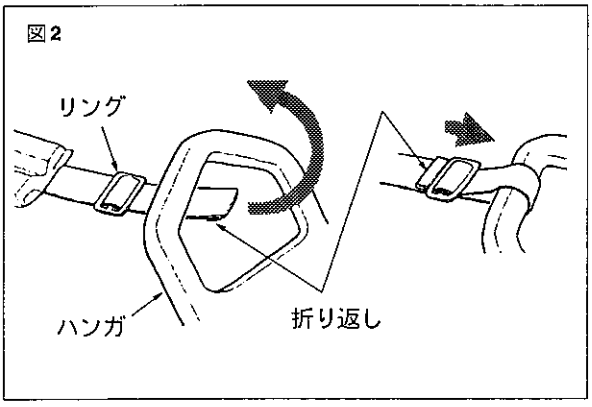


図2



【手順1~3はEBE440のみ】

1. 背当て上部のクリップを、マイナスドライバの先を差し込んでフレームから取り外してください。

2. 付属のハンガを、十字穴付きスクリュ（M6×14）4本でフレームの送風機側に取り付けてください。（図1）

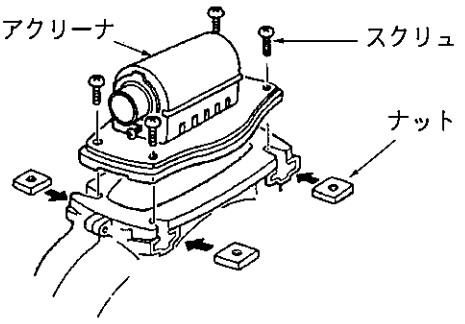
3. 背当て上部のクリップをフレームの穴にはめ込んでください。

4. 付属の背負いバンドの上端部を、折り返しのある方を外側にして、下からハンガに巻き付けた後、バンドのリングに通してください。バンド取り付け後、リングをハンガに寄せてから強く引いて見て、はずれないことを確かめてください。（図2）

5. 背負いバンドの下端部のフックをフレームのリングに掛けてください。

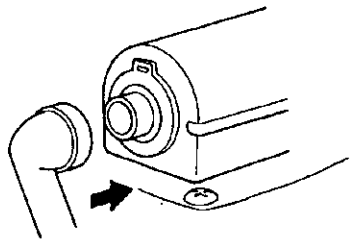
■エアクリーナの取り付け (EBE440のみ)

図3



1. 付属のエアクリーナを送風機本体上部にのせ、角ナットを窪みにはめ込んでからスクリュ４本で固定してください。

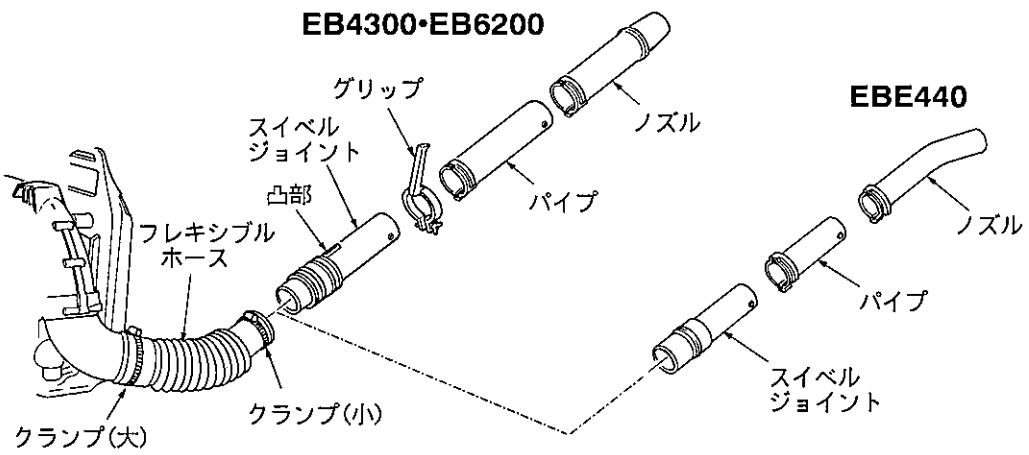
図4



2. キャブレタに取り付けられている吸気ホースをエアクリーナに差し込んでください。

■風管の取り付け

図5



1. 付属のフレキシブルホースの大径側にクランプ(大)をはめてから、ホースを送風機のエルボ部に取り付け、クランプを確実に締め付けてください。
2. **(EB4300•EB6200)** スイベルジョイントにグリップをはめ、凸部で固定してください。(↗)

(↙)

3. スイベルジョイントにパイプ、ノズルの順で取り付けてください。
4. フレキシブルホースの小径側にクランプ(小)をはめてからスイベルジョイントをフレキシブルホースに差し込み、クランプを確実に締め付けてください。

燃　料

⚠ 危険	●燃料は非常に引火しやすいため取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。 燃料の混合や給油時は必ず火気を遠ざけタバコは吸わないでください。 ●給油時にこぼれた燃料はエンジンをかける前によくふき取ってください。 ●作業中に燃料を補給する場合は給油前に必ずエンジンを停止してください。 ●燃料の入った容器はたき火やバーナーなどの近くに放置しないでください。

重 要	●4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。 ●燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。余った燃料は密閉容器に入れ冷暗所に保管してください。

混合比

□ゼノア純正2サイクルオイル使用時
…… **40:1**
（ガソリン4Lに対しオイル 100mL）

□市販2サイクルオイル使用時
…… **25:1**
（ガソリン4Lに対しオイル 160mL）

燃料は、最寄りのガソリンスタンドで「空冷2サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを左記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

— ゼノア純正　ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用で
キャブ詰まり追放
◎混合の手間不要
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、
排気をきれいにする各種添加剤配合
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

バッテリの充電（EBE440のみ）

⚠ 注 意	●充電中は燃料などの引火しやすい物を付近におかないでください。 ●充電を終えた後、充電器を電源に差し込んだままにしないでください。 ●バッテリ充電時は付属の専用充電器以外は使用しないでください。

重 要	●バッテリは、時間の経過と共に内部放電により電圧が低下します。初使用時及び長期休止後は、使用前に必ずバッテリを充電してください。 ●充電器を電源に差し込んだまま長時間放置しないでください。発熱により内部回路が破損することがあります。 ●バッテリは充電再使用の繰り返しにより徐々に劣化します。正常な充電器で所定時間充電してもバッテリの電圧が回復しない（セルモータが回らない）場合は、新しいバッテリと交換してください。

図6

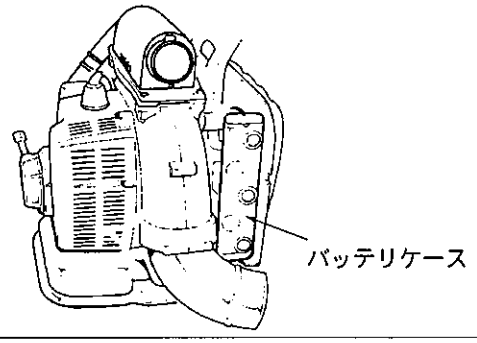
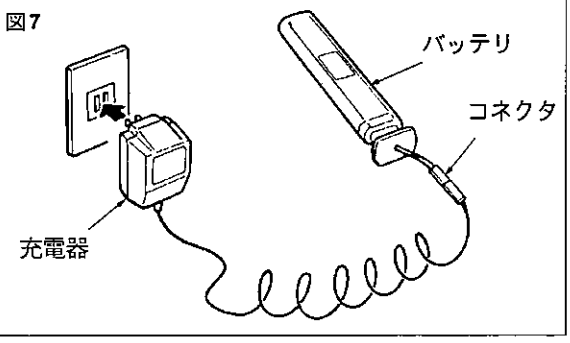


図7



1. 背あて裏側のバッテリケースのリード線コネクタを切り離し、バッテリを取り出してください。（図6）

2. バッテリのコネクタを付属の充電器に接続してから充電器をAC100V電源のコンセントに差し込み、約10時間そのままにしてください。（図7）

3. 充電が終わったら充電器を電源から抜き、バッテリを元通りバッテリケースに入れてコネクタを接続してください。

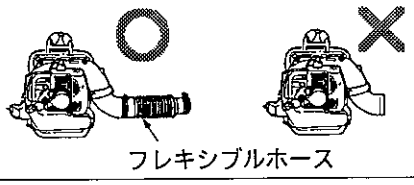
重要 バッテリ着脱時はリード線を強く引かないでください。無理な力がかかると断線することがあります。

バッテリ諸元	
種　　別	ニッケルカドミウム電池
定格電圧	12V（1.2V × 10）
部品番号	Z1480-74510

エンジンのかけかた

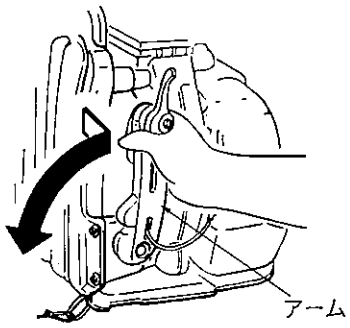
⚠ 注 意	始動と同時にノズルから強い風が吹き出しますので、エンジン始動時はノズルの前方に人がいないことを確かめてください。

重 要	運転時はフレキシブルホースを送風機に接続してからエンジンをかけてください。ホースを付けずに運転を続けるとエンジンの冷却風が不足しピストン焼き付きなどの故障を招くことがあります。



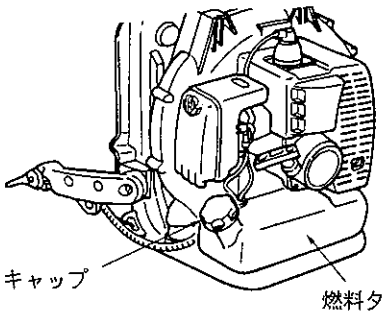
EB4300・EB6200

図8



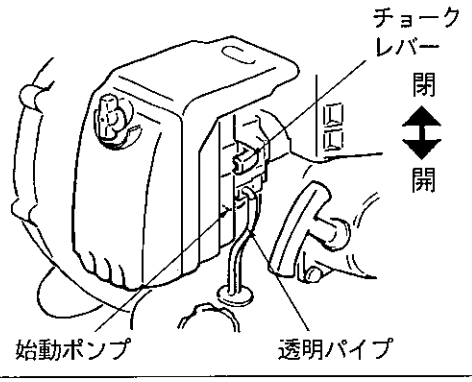
1. アームが折りたたまれている場合は、手前に引きながら左に回して作業位置にセットしてください。(図8)

図9



2. 燃料タンクに燃料を入れキャップをしっかり締めてください。(図9)

図10



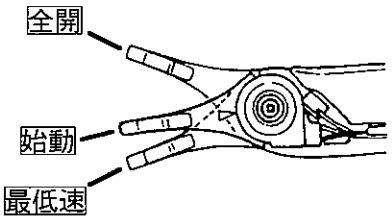
3. 燃料が透明パイプを通ってタンクに戻り始めるまで、始動ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。(図10)

補足 タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

4. チョークレバーを上げて「閉」の位置にセットしてください。(図10)

補足 エンジン停止直後に再始動する場合は、チョークを開いたままスタータロープを引いてください。

図11



5. スロットルレバーを上げて始動位置（全開の約1／3）にセットしてください。(図11)

6. 機体を安定させてから左手でエアクリーナを押え、右手でスタータノブを引いてください。スタータノブは始めは軽く引き出し、重くなったら力をこめて素早く引いてください。

重 要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。

7. エンジンが始動したらチョークロッドを徐々に押し込んで2～3分低速で暖機運転してからスロットルレバーを最低速位置に戻してください。

重 要 チョークロッドを引き出したままロープを引き続けると、スパークプラグが濡れてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークロッドを押し込んでからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグをいったん取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

エンジンのかけかた EBE440

図12

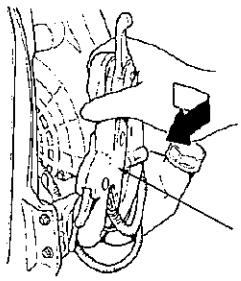


図13

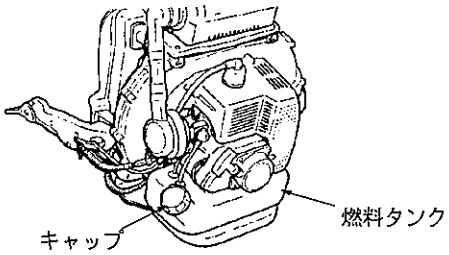


図14

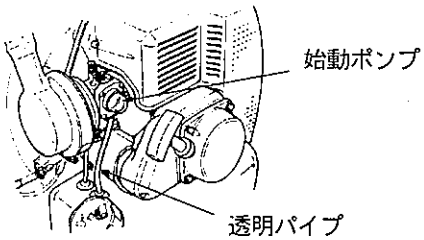


図15

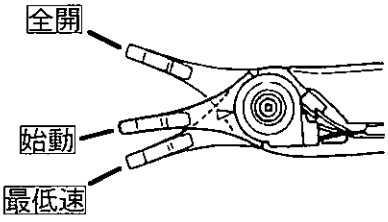
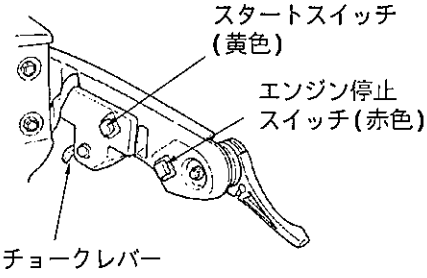


図16



1. アームが折りたたまれている場合は、手前に引きながら左に回して作業位置にセットしてください。(図12)

2. 燃料タンクに燃料を入れキャップをしっかり締めてください。(図13)

3. 燃料が透明パイプを通ってタンクに戻り始めるまで、始動ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。(図14)

補足 タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止後間を置かずに再始動する場合はポンプ操作は必要ありません。

4. スロットルレバーを上げて始動位置（全開の約1／3）にセットしてください。(図15)

5. 左手でチョークレバーを引きながらスタートスイッチを押してください。セルモータが作動してエンジンが始動します。(図16)

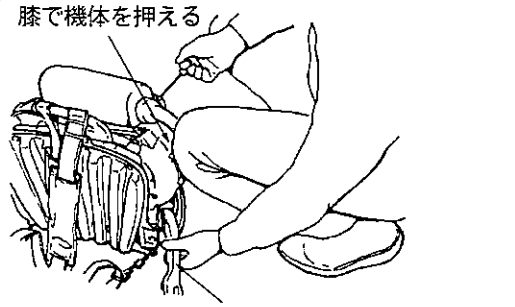
重要 バッテリの消耗が早まりますのでスタートスイッチは5秒以上押し続けないでください。1回でエンジンが始動しない場合はいったんスイッチから指を離し、一呼吸おいてから押し直してください。

補足 エンジン停止後間を置かずに再始動する場合はチョークレバーを引く必要はありません。

6. エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に戻して2～3分間暖機運転してからスロットルレバーを最低速の位置にしてください。

リコイルスタータで始動する場合

図17

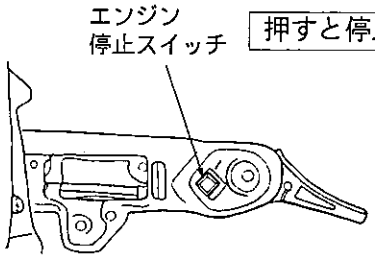


バッテリの電圧低下などでセルモータではエンジンがかからない場合は、リコイルスタータを使って、図17の要領でエンジンをかけてください。

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。

図18



(図:EB4300・EB6200)

1. スロットルレバーを「最低速」の位置にして1～2分間冷却運転をしてください。

2. アーム内側のエンジン停止スイッチ(赤色)を、エンジンが完全に停止するまで押し続けてください。(図18)

使　用　方　法

⚠ 注意	●道路や広場、駐車場など、人や車の往来がある場所で作業する時は、作業区域の周囲を保安バリケードで囲むなどの事故防止措置を講じてください。 ●ハシゴや屋根など、安定した姿勢の確保が困難な場所では使用しないでください。 ●吹き飛ばされたゴミで傷ついたり、風で倒れて破損したりする恐れのある物はあらかじめ移動するか、適切な覆いをしてください。

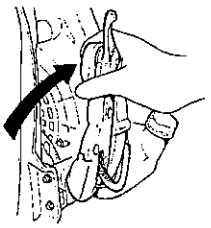
重 要	ブロワを使わない時はアームを折りたたんでください。アームを伸ばしたままだと、誤って落としたり、運搬中に強くぶつけたりした際に取り付けブラケット部が破損する恐れがあります。	

図19

●背負いバンドは、ブロワ本体を背負ったとき作業しやすい長さに調整してください。

●風力は、現場の条件に合せてスロットルレバーで適切な強さに調節しながら作業してください。

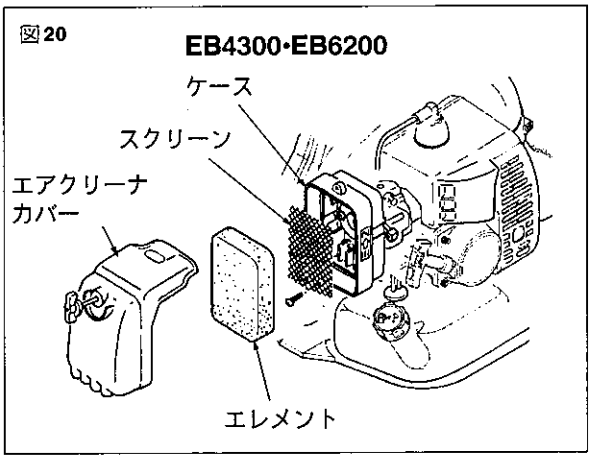
●ゴミを一箇所に集める場合は、地形や風向きを考え、上方から下方へ、風上から風下へ、を基本に作業経路を設定してください。

点検整備

⚠ 注意	●点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ●送風機やエンジンの分解、改造等はしないでください。 ●マフラの整備が必要な場合は販売店にご相談ください。整備方法を誤ると、運転中に高温の排気ガスが吹き出す危険があります。 ●交換部品、油脂類は当社純正品または指定品を使用してください。

■エアクリーナ

図20



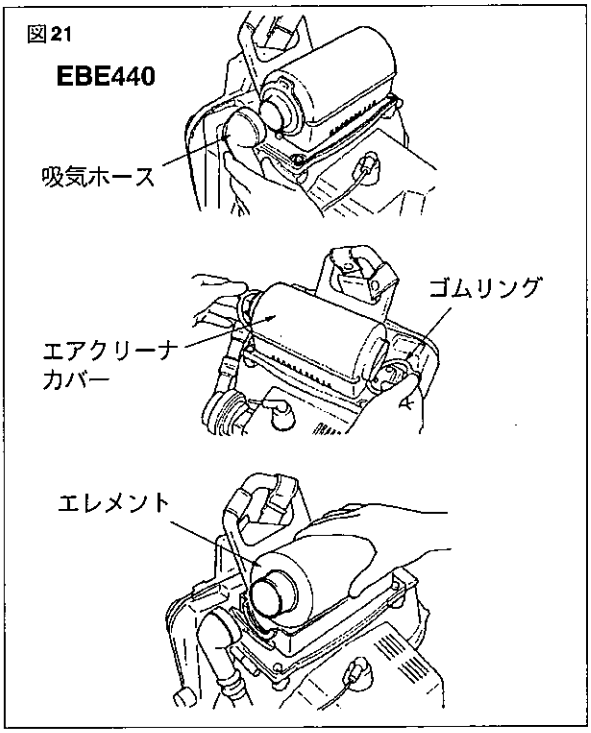
1日の作業が終わったらエアクリーナカバーを取り外してエレメントの汚れ具合を点検してください。(図20、図21)

汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、乾燥させた後、2サイクルオイルをしみ込ませてから、元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

品番　EB4300、EB6200用 Z1491-82311
　　EBE440用 Z3496-83130

図21



重要1 エアクリーナエレメントが詰まるとエンジン性能が低下します。また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

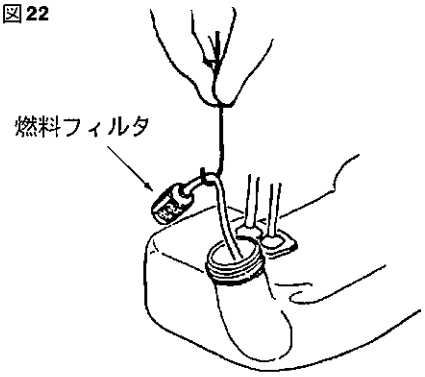
重要2 エアクリーナカバーを取り付けた後、手で軽く動かして外れないことを確かめてください。取付が不完全だと使用中にカバーが外れてエレメントが脱落、紛失することがあります。

補足1 EB4300、EB6200のエアクリーナカバーは、スクリュをゆるめてから下側の張り出し部を指で手前に引くと外れます。取り付け時はケースに向かい合わせてカチッという音がするまで押し付けてください。

補足2 エレメントを取り付ける前にスクリーンを忘れずに取り付けてください。(EB4300、EB6200のみ)

■燃料フィルタ

図22



使用25時間毎を目安に燃料タンクから燃料フィルタを取り出して点検し、付着したゴミを取り除いてください。(図22)

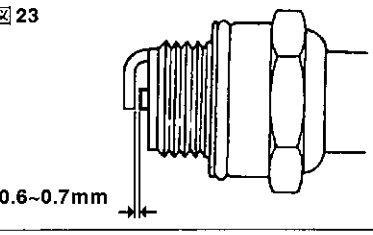
フィルタが目詰まりしている場合は新品と交換してください。(品番：Z3302-85400)

燃料フィルタをタンクに戻す際は燃料パイプが折れ曲がらないように注意してください。

重 要 燃料フィルタが詰まったり燃料パイプが折れ曲がっていると、エンジン回転が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。

■スパークプラグ

図23



⚠ 注 意	運転直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。高温のため火傷の危険があります。

使用25時間毎にスパークプラグを取り外して電極の汚れをワイヤブラシなどで取り除いてください。

電極間隙は0.6～0.7mmが適当です。

プラグ交換時は指定品をお使いください。

重要 燃料を吸い込みすぎたりオイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。

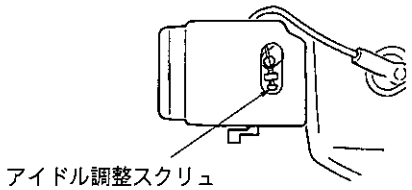
指定スパークプラグ　　( ) 内：純正品品番

EB4300	EBE440	EB6200
ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ RJ-6C (Z1497-73110)	ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ RJ-6C (Z1497-73110)	ﾁｬﾝﾋﾟｵﾝ RCJ-6Y (Z5602-73110)

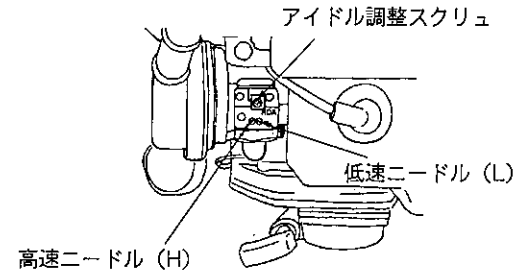
■エンジンの調整

図24

EB4300•EB6200



EBE440



エンジンは工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化（エンジンのなじみ、高地使用等）により再調整が必要と思われる場合は、以下の手順で調整してください。調整しても改善しない場合は他の原因が考えられますのでお買い上げ店にご相談ください。

アイドル調整スクリュ

運転中スロットルレバーを完全に下げた位置にしたとき、エンジンが止まってしまったり、逆にエンジン回転が高過ぎるような場合は、アイドル調整スクリュを再調整してください。

【調整方法】

エンジンをかけ、2〜3分中速で暖機運転した後、スロットルレバーを完全に下げた位置にしてからアイドル調整スクリュをマイナスドライバで回してください。

スクリュを右に回すとエンジン回転が上がり、左に回すとエンジン回転が下がります。

燃料ニードル（EBE440のみ）

重要 燃料ニードルの調整を誤るとエンジン不調や故障(回転不安定、燃費増大、過熱による焼き付きなど)の原因となりますので十分注意してください。

1. マイナスドライバでスタータ側のネジ（エアクリーナ側：高速ニードル、エンジン側：低速ニードル）を右に回して止まった位置から次の開度分、左に戻してください。

燃料ニードル基準開度と許容範囲

	基準開度	許容範囲
高速ニードル（H）	0（締切）	—
低速ニードル（L）	1回転と3/8	±1/4回転

2. 低速ニードルは、右に回すと混合気が薄くなり、左に回すと濃くなります。エンジンを運転しながら上記許容範囲内で左右にニードルを回して、最適な位置にセットしてください。絞りすぎると加速不良やエンジン過熱の原因となり、開きすぎると燃料消費が増えますので注意してください。

■長期保管時の手入れ

⚠ 注 意	燃料抜き取り時は、燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。また、保管容器のキャップはしっかり締めてください。

重 要	燃料を入れたまま長期間放置するとキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。

1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。

2. 燃料タンクを空にしてからエンジンをかけ、残った燃料を使い切って止まるまで低速で運転してください。

3. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。

4. スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を差してから、機体に覆いをして屋内の湿気のない場所に保管してください。

5. （EBE440のみ）2カ月毎を目安にバッテリを取り外して補充電してください。

製品主要諸元

名称・型式			ゼノア エンジンブロワ		
			EB4300	EBE440	EB6200
用途			屋外施設・路面等の風力清掃		
本体重量※1		kg	8.4	10.0	8.9
本体外形寸法(全長×全幅×全高)※1		mm	480×535×495	485×490×535	480×535×495
燃料タンク容量		L	2.0		
送風機最高回転速度		rpm	6500	7500	7700
送風能力	最大風量※2	m³/分	12	10	14
	最大風速※3	m/秒	72	80	90
エンジン	形式		単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン		
	排気量	cm³	41.5		62.0
	使用燃料		潤滑油混合ガソリン		
	混合比		40:1(ゼノア純正オイル使用時) または 25 : 1(市販オイル使用時)		
	使用潤滑油		2サイクルエンジン専用オイル		
	キャブレタ		ダイヤフラム、ロータリバルブ式		
	点火方式		電子制御フライホイルマグネト式(CDI)		
	スパークプラグ		チャンピオン RJ-6C	チャンピオン RJ-6C	チャンピオン RCJ-7Y
	始動方式		リコイルスタータ式	セルモータ/リコイルスタータ併用	リコイルスタータ式
	停止方式		点火回路一次線短絡式		
	エアクリーナ		半湿式	乾式(大型)	半湿式
標準付属品			風管、取付金具、グリップ、整備工具セット	風管及び取付金具 整備工具セット 充電器	風管、取付金具、グリップ、整備工具セット

※1)フレキシブルホース、風管類、燃料を除く　※2)フレキシブルホース、風管装着状態　※3)ノズル出口部

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

ZENOAH

株式会社 ゼノア http://www.zenoah.co.jp/

本社:〒350-1165 埼玉県川越市南台 1-9 カスタマサポートグループ TEL(049)243-1110

北海道支店 TEL (0133) 73-0355　大 阪 支 店 TEL (06) 6864-0065
東 北 支 店 TEL (022) 235-4621　西 部 支 店 TEL (086) 241-3632
東 京 支 店 TEL (049) 243-6380　九 州 支 店 TEL (092) 504-6261
中 部 支 店 TEL (052) 701-8011　鹿児島営業所 TEL (0995) 63-1779

(平成19年4月現在)
2760-93111(E0/A704) PRINTED IN JAPAN